

## 木曾川の利用などに関する提言

一般には河原など公園的なグラウンドを造りそこで遊ぶことを考えて利用されています。町の発展などで曲がりくねった道路やちょっとした林や住居の周りの木樹も落ち葉や日陰を嫌われ切られ景観がひどく悪くなっています。河の風景も自然に出来た美しい部分が無くなってきているのは残念です。どうもわれわれ日本人はこの景観と自然保持という貨幣価値で計ることの出来ないものに対する価値観を最近は失い気味でないかと思います。

川が持っている重要な役割の1つは自然環境の保持があります。幸い八開地区から立田地区にかけては自然の状態が残った部分がたくさんあり四季の野生の花々や鳥獣がみられます。愛西市のただ一つの自然と接することが出来る場所だと思います。この点を考えてこの地区に自然保護地区を作って立ち入り禁止にしてはどうですか？ もっと推し進めるには堤防の一部の改造やワンドをつくり曲線の多い風景（自然界には直線は存在しない）に変えたりしては？ 都市公園的なものにしないことが重要だと思います。

景観についてはイタリアのミラノが郊外の非常に広い部分に保護のための法の網（ランドシャフト）をかぶせて景観維持の計画を実行していると新聞記事でみた覚えがあります。その記事では軍事施設を取り払うとか町の雰囲気になじまない建物は補助金を出して改装させるとかをしているとの事。それほど景観というものの価値を認めています。また私の訪れたオーストラリアの島は広大な自然があるにもかかわらず自然林への立ち入りや車の通行を制限したりしています。居住区域も建物の屋根が樹林の上へでてはいけないと非常に厳しい制限をして景観を保護しています。日本にも景観や自然保護の維持のための指導的な動きのひとつとして河川の利用の面を活用してほしいと考えます。

参考写真を添付します。

貝は 50 個以下の採集。 それを犯すと最高 75000 ドル約 750 万円の罰金



地域の住民が自然保護のために月一回2時間ほど奉仕活動をする。



自然保護のため禁止事項と危険回避の注意を示した看板



いろいろの制限看板



砂浜へはライフガード人命救助員以外は車の乗り入れ禁止



植生保護のため立ち入り禁止の看板



他の地域で見かけた自然保護の看板 特別な植生ではないが損害を与えると 5000 ドル約 50 万円の罰金。



木曾川の野生の花と鳥



鷹の類？





タゲリ



若い鷹の類





